



長野県建築士会

佐久支部

ちしよ



佐久の礼所

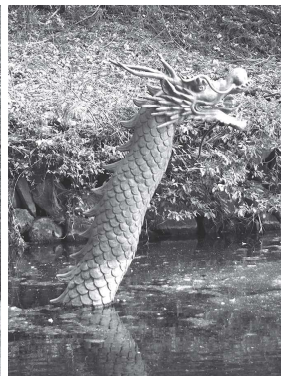
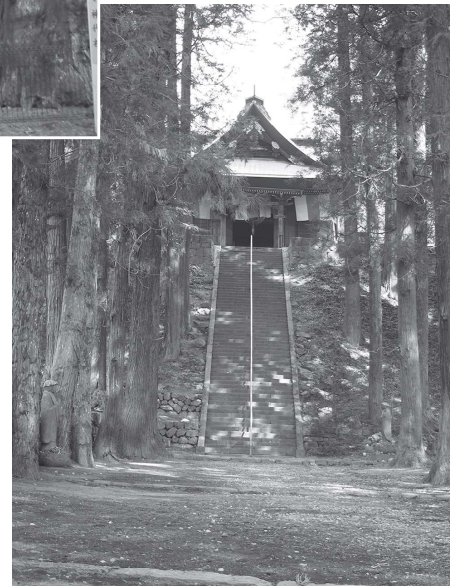
第4番礼所 真楽寺

北佐久郡御代田町塩野142

真楽寺は、用明天皇の勅願により、浅間山の噴火が鎮まることを祈願し、用明2年（587年）に建立されたのが始まりとされる。

浅間山麓にあり「浅間山」の山号を有する。

仁王門をくぐると神秘的な霊域に入り込んだことを実感させられる。



支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
佐久支部協議会	4~5
事業中間報告	6
委員会活動について	7~9
風穴調査活動報告	10~11
新年講演会	12
着任挨拶	13
新会員の声	14
賛助会員の紹介	15
事務局より	16

モクジ

ご挨拶

(一社) 長野県建築士会佐久支部

支部長 臼田 幸夫



盛夏の候、会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

去る5月10日の支部協議会において副支部長・幹事と共に承認を

されました。平成29年度、30年度の支部長として会員の皆様の声に耳を傾けながら会の運営に尽力する所存です。

4月より佐久地方事務所が廃止され佐久地域振興局となりました。建築士会と関わりの深い建築課は佐久建設事務所に移管されましたが、場所に変更はなく支部事務局も以前と同様に業務を行うことが出来ることになり安堵しました。

5月27日に本会の総会が開催されその中で平成29年度の事業計画の柱に「夢のある公益社団法人建築士会を目指して」というのがありました。支部会員の皆様の中には様々な意見があることは承知しています。10年後、20年後の建築士会のあり方を見据えた中での議論になることを期待し、会員の皆様の意見が反映される様な形で進めてほしいと思っています。

会員の減少は佐久支部に限らず他支部・他団体においても同様のことだと思います。少子化、人口減少の中ではやむを得ないことではありますが、その減少に歯止めをかけるにはどうすれば良いかを一番の肝に据えて会の運営を考えてまいります。

職能集団であり専門知識をもつ個人の資格者

団体である建築士会として社会貢献、地域貢献活動は会のあるべき姿だと思います。昨今の防災意識の高まりから住宅の耐震診断の必要性和震災後の応急危険度判定などの支援活動の周知、又、空家の増加による住宅ストックの活用、それに伝統的、歴史的建築物を活かすまちづくりなど建築士会は行政と関わりながらその役割を更に前に進めていかなければなりません。こういった社会貢献活動を通じ建築士会の知名度を上げることも会員増強の一翼を担う大切なことと考えます。

佐久支部の青年女性委員会の活躍は今年も際立っています。小諸市の風穴に焦点を当て地元保存会の方々と共に進めてきた「風穴のある場所の価値～小さな村の物語」が地域実践活動として長野県代表となりました。6月23日には関ブロ青年協・かながわ箱根大会での発表がありますが、この挨拶文が皆様のもとへ届く頃には、さて・・・。

更に、ベテラン会員の皆様をお願いをしてレジェンド会員アドバイザーシステムを進めています。大先輩の豊富な知識と経験が若い建築士の皆さんの悩みの解消に必ず役立つ事と思います。このシステムを利用したい時には支部事務局まで連絡願います。

荻原前支部長が本会総会において副会長として承認をされました。課題の多い本会の舵取りと、引き続き支部の運営と未熟な私に助言を頂けましたら大変ありがたいと思います。

結びに、会員各位のご多幸と更なる発展を心よりご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

長野県佐久建設事務所

建築課長 塚田 昌宏



4月から佐久建設事務所建築課長として赴任しました。塚田昌宏と申します。

17年ぶり二度目の佐久勤務となりますが、よろしくお願

いいたします。

既にご存じのとおり、県では地域の強みや特性を最大限に活かした地域振興を進めて行くため、本年4月から地方事務所に代わり「地域振興局」を設置し、また、建築課は建設事務所に移管となりました。

これにより、地域のまちづくりや災害対応などに対し、今までにも増して、建設・建築の両部門が一体となり対応することができる体制が整ったところです。

各現地機関が連携して、地域の課題に当たってまいりますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

また、本年度は現在の県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」の最終年度となります。

これまで、各施策を着実に遂行し、一定の成果を上げてまいりましたが、今年度は目標達成に向け全力で取り組み、プランの総仕上げを図ることはもとより、新たな次期計画の策定に向けて、皆様方からの御意見を頂戴してまいりたいと考えておりますので、重ねてご協力をお願いいたします。

さて、今回の二度目の佐久勤務ですが、なんと偶然にも、前回に引き続き下伊那地方事務所からの異動となりました。異動の時期が近づくにつれ、「今回も佐久かな？」と想着ていましたら、みごとに的中です。前は子どもが小学生と幼稚園児だったため、4年間を家族と佐久で暮らし（佐久勤務は3年でしたが、その後の上田への異動時に子供の転校を考慮し、1年間上田に通いましたので）、学校行事をはじめとし、子供の友達家族とのキャンプや、当時の趣味の釣り（山中で熊に会い、その日から釣りは趣味でなくなりましたが）など楽しい思い出ができました。今回は長野の自宅からの通勤のため、当時のような楽しみはありませんが、また違った経験ができたと思っています。

長野からの通勤は新幹線で、健康のため2度ほど佐久平駅から佐久合庁まで歩きましたが、所要時間は1時間ほど。毎日実践できれば健康な日々が送れると思います。（私は既に健康なので実践はしないこととしました。）

佐久管内は、建築確認件数、相談件数共に多い状況にあります。また、空き家対策やまちづくりなど、これからの課題も多くあります。皆様方のご理解、ご協力のもと、建設事務所という新たな体制で取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会員の皆様方の益々の御発展をご祈念申し上げ、私の着任のごあいさつとさせていただきます。



平成29年度 佐久支部協議会

平成29～30年度 (一社) 長野県建築士会佐久支部 役員名簿

佐久支部第7回協議会が去る5月10日、佐久グランドホテルに於いて、盛大に開催されました。各役員の氏名は下記のとおりです。



支 部 長	白田 幸夫 (交流委員会)				
副支部長	清水 元旦 (青年女性委員会)				
	山口 康憲 (総務企画委員会)				
	土屋 龍男 (情報広報・社会貢献委員会)				
	佐藤 守英 (教育事業委員会)				
	高橋三七人 (社会貢献委員会)				
幹 事	大井 正広 (小諸)	大竹 雅英 (小諸)			
	白鳥 正司 (小諸)	高橋 厚志 (小諸)			
	山浦 孝志 (小諸)	柏木 邦彦 (佐久)			
	片井 英治 (佐久)	菊池 弘之 (佐久)			
	高地 菊男 (佐久)	小平 稔 (佐久)			
	竹花 彰男 (佐久)	田村優美子 (佐久)			
	星野 武光 (佐久)	茂木 隆 (佐久)			
	柳澤 緑 (佐久)	吉澤 和彦 (佐久)			
	小佐波哲哉 (御代田・軽井沢)	小泉 仁 (御代田・軽井沢)			
	佐野孝太郎 (御代田・軽井沢)	中里 忠雄 (御代田・軽井沢)			
	山田 功 (御代田・軽井沢)	両川 正 (御代田・軽井沢)			
	飯沼 勝智 (川西)	大町 栄一 (川西)			
	鈴木 繁之 (川西)	中島新八郎 (川西)			
	小須田美一 (南佐久)	櫻井 和也 (南佐久)			
	佐藤 成暁 (南佐久)	高橋 美喜 (南佐久)			
	堀内 文雄 (南佐久)	油井 満夫 (南佐久)			
	緑川 博行 (青年女性委員長)				
顧 問	柳澤 弘 青木 隆夫 伊藤祥二郎 赤尾 靖雄 重田 元一				
	荻原 白				
参 与	阿部 義則 山崎 武信 小林 勲 林 稔				
	土屋 秀人 小泉 英夫 望月 哲男 岩崎 行夫				
	下平 昭夫 山浦 伸一 小澤 忠 赤尾 邦弘				
相 談 役	塚田 昌宏 (長野県佐久建設事務所建築課長)				
常 任 幹 事	宮澤 文夫 (長野県佐久建設事務所建築課担当係長)				



平成29年～30年度 建築指導員名簿

小諸地区	大竹 雅英	篠原 功	山浦 孝志	
佐久地区	工藤 琢之	菊池 広美	飯田 篤	星野 武光
御代田・軽井沢地区	小泉 仁	吉澤雄一郎	土屋 龍男	
川西地区	小林 薫			
南佐久地区	佐藤 成暁	高橋三七人		

平成29～30年度（一社）長野県建築士会佐久支部 幹事会委員名簿

佐久支部第2回幹事会が去る5月31日、佐久グランドホテルに於いて開催されました。各委員の氏名は下記のとおりです。

※下記氏名は幹事会委員名のみ掲載しました。一般委員名は一部しか掲載しておりません。

総務・企画委員会

担当副支部長 山口 康憲
 委員長 菊池 弘之（佐久）
 副委員長 中島新八郎（川西）
 委員 大井 正広（小諸）
 片井 英治（佐久）
 中里 忠雄（御代田・軽井沢）
 堀内 文雄（南佐久）

教育・事業委員会

担当副支部長 佐藤 守英
 委員長 茂木 隆（佐久）
 副委員長 小平 稔（佐久）
 副委員長 白鳥 正司（小諸）
 委員 竹花 彰男（佐久）
 小須田美一（南佐久）
 小泉 仁（御代田・軽井沢）
 鈴木 繁之（川西）

社会貢献委員会

担当副支部長 高橋三七人
 担当副支部長 土屋 龍男
 委員長 星野 武光（佐久）
 副委員長 山田 功（御代田・軽井沢）
 副委員長 柳澤 洋介（一般・佐久）
 副委員長 小泉 正樹（一般・川西）
 委員 大竹 雅英（小諸）
 高橋 厚志（小諸）
 柏木 邦彦（佐久）
 吉澤 和彦（佐久）
 田村優美子（佐久）
 両川 正（御代田・軽井沢）
 佐藤 成暁（南佐久）

情報・広報委員会

担当副支部長 土屋 龍男
 委員長 山浦 孝志（小諸）
 副委員長 大竹 雅英（小諸）
 副委員長 飯沼 勝智（川西）
 委員 高地 菊男（佐久）
 佐野孝太郎（御代田・軽井沢）
 櫻井 和也（南佐久）
 高橋 美喜（南佐久）

青年・女性委員会

担当副支部長 清水 元旦
 委員長 緑川 博行（佐久）
 副委員長 鎌田賢太郎（一般・佐久）
 副委員長 飯田 智（一般・佐久）
 副委員長 山田まどか（一般・御代田・軽井沢）
 委員 星野 武光（佐久）
 佐藤 成暁（南佐久）
 柳澤 緑（佐久）
 重田 仁志（一般・川西）
 荒木 貴志（一般・小諸）
 井出 正臣（一般・南佐久）
 真嶋 直行（一般・御代田・軽井沢）
 新津 輝秋（一般・佐久）
 佐藤 穂高（一般・佐久）
 柳澤 洋介（一般・佐久）
 小林 千恵（一般・御代田・軽井沢）
 齊藤 絵美（一般・小諸）
 井野 勇志（一般・御代田・軽井沢）
 星野 仁（一般・佐久）
 高見澤 晃（一般・南佐久）
 他45歳以下の男性及び女性

交流委員会

担当支部長 臼田 幸夫
 委員長 大町 栄一（川西）
 副委員長 油井 満夫（南佐久）
 委員 大井 正広（小諸）
 柏木 邦彦（佐久）
 竹花 彰男（佐久）
 小左波哲哉（御代田・軽井沢）



平成29年度 事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
3.31～4.24	二級・木造建築士試験申込用紙配布	
4.7～5.15	一級建築士試験申込用紙配布	
4.7	第3回実務講習会	佐久平交流センター
4.7	第2回東北信地区組織再編等研究会	長野県建築士会館
4.10	第6回三役会	佐久グランドホテル
4.11	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館
4.19	第7回三役会及び第5回幹事会	佐久グランドホテル
4.21	仕事に役立つ話し方講座及び新入会員歓迎会	かつ栄
4.26	新旧三役会	佐久グランドホテル
4.27	第7回社会貢献委員会	野沢会館
5.2	県総務情報委員会	松本市
5.10	県フォーラム実行委員会	駒ヶ根市
5.10	平成29年度支部協議会	佐久グランドホテル
5.10	第1回支部幹事会	佐久グランドホテル
5.12	県理事会	長野県建築士会館
5.22	県役員選考委員会	長野県建築士会館
5.24	第1回三役会	かつ栄
5.26	第1回青年女性委員会	佐久平交流センター
5.27	第67回通常総会	浅間温泉文化センター
5.31	第2回三役会及び第2回幹事会	佐久グランドホテル
6.6	県三役会及び県理事会	長野県建築士会館
6.7	県住宅ストック活用対策特別委員会	長野県建築士会館
6.9	県青年女性委員会	長野県建築士会館
6.14	第1回総務企画委員会	佐久グランドホテル
6.14	第2回青年女性委員会	佐久平交流センター
6.15	佐久木造住宅耐震推進協議会反省会	かつ栄
6.15	県木造塾委員会	長野県建築士会館
6.20	県フォーラム実行委員会	駒ヶ根市
6.20	第1回交流委員会	かつ栄
6.21	新支部長レクチャー	佐久合同庁舎
6.21	県まちづくり委員会	長野県建築士会館
6.22	県建築活動委員会	長野県建築士会館
6.22	第1回教育事業委員会	佐久グランドホテル
6.23	関ブロかながわ箱根大会	神奈川県
6.26	県防災委員会	長野県建築士会館
6.27	県景観整備機構	長野県建築士会館
6.28	第1回社会貢献委員会	佐久ホテル
6.29	第3回空き家対策佐久地域連絡会	佐久合同庁舎

平成29年度
総務・企画委員会活動について
 総務・企画委員長 菊池 弘之

●● 吠える犬の生活 ●●

以前、伯父に、『お前は野良犬だな』と言われたことがある。どの様な意味なのか聞くと、会社（仕事）が終わっても直ぐに自宅に戻らず、ウロウロ街を彷徨って暗くなってから、ようやく帰宅するタイプを野良犬と呼ぶらしい。そう言われると、言い当てられているので返す言葉はない。逆に会社（仕事）が終わって直ぐに帰るタイプは、伝書鳩と呼び、文字通り自宅に飛んで帰るらしい（とても真似は出来ない、聞くだけでゾワゾワしてしまう）

ここ17年程は、自宅の隣が事務所なので通勤時間はない。同時に妻と設計事務所を営んでいるので、24時間、一緒に仕事・生活をしている。常に私が自宅・事務所にいるのも、大変の様なので(?)。だが、野良犬には都合良く、一旦凶面を描くのを止め、外出し彷徨、最近はゴルフの練習に励んでいる。又、建築士会・他の建築団体などの会議で留守になる時は、歓迎される、食事付だと尚更である。

もう一つ、犬の話で恐縮ですが、中央工学校の怖い担任に『ようー、菊池、吠える犬と、尻尾を振る犬と、お前どっちが可愛いと思うよ?』前振りも無く低い声で訊いてくる。

私は返事が出来ない。要は『菊池、お前は、ギャンギャン吠えて可愛くない、世間に出てもお前のような奴は可愛がられない、少しは尻尾を振ることも覚えろよ。』と言いたいのだろう・・・。未だに、この言葉を覚えているので、なるべく吠えないようにしているが、残念ながら、本質は変わらず、逆に尻尾を振る輩を見ると、嫌悪してしまう。

纏めると、吠えることを、抑えている野良犬・・・になる。・・・残念ながら・・・。ですが、違和感・危機感を感じても、発言しなければ、そのまま通過してしまいます。

夢がある公益社団法人などと、絵空事の言葉に乗せられず、現実は何が出来て、建築士会に於いて、どの方向性が望ましいのか? 番犬のような総務企画委員長ですが、佐久支部・支部長白田さんを補佐させて頂きます。宜しくお願い致します。

今年は東信ブロック・三団体・県大会とゴルフ大会企画運営が3つ重なり、12月には三団体の視察研修(京都)も建築士会担当です。

皆様のご協力を重ねてお願い致します。

平成29年度
教育・事業委員会活動について
 教育・事業委員長 茂木 隆

日頃より会員及び賛助会員の皆様方には当委員会の活動に際し、御理解と御協力を戴き誠にありがとうございます。

当委員会は年5回程の実務講習会の開催と、2年毎に開催する佐久地域に建てられました会員の作品を対象とした建築文化賞の開催です。

実務講習会は主に賛助会員の方々に御協力を戴いて、その時々身近な題材を見つけて開催しておりますが、中々CPDに対応した内容の確保が難しく、目標回数に達していないのが現状です。

引き続き賛助会員の方々にも随時参加と御協力を戴ける様お願いする共に、設計関係のみならず施工・管理関係の方々にも“こんな講習内容はできるか”等の御意見・御要望等も戴ければ幸いに思います。

実務講習会の目的は日々の会員の自己研鑽の一助にして貰うことに有りますので、どうぞご理解の上積極的な参加をお願い致します。

そして建築文化賞は前回の第13回は運営上の都合により3年目に昨年度開催され、次回の第14回は来年か再来年の開催になるかと思われませんが、前回は若手の作品が多く出品され表彰されました。

此の事業も出品数や出品者数等の問題も多く、応募依頼に苦慮している所ではありますが、応募期間等の調整をする事や申し込み期限を早め、早目に応募状況を把握する等に依り、より多くの作品を応募して戴ける体制をとれる様検討しております。

以上が本年度の事業目標とする活動ですが、それぞれ難題の多い事業です。会員、賛助会員の皆様方には更なるご理解を戴き各事業活動には積極的に参加して戴きたいと考えておりますので、是非とも皆様の御協力をお願い申し上げます。



平成29年度 社会貢献委員会の活動について

社会貢献委員長 星野 武光

今年度から社会貢献委員長を仰せつかりました。能力不足ですが皆様からご教授いただき委員長としての役を果たしていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

社会貢献委員会の今年度の事業は大きく三つの分野に分け各部会を中心に活動します。①防災、②まちづくり、③住宅ストック。本会の委員会に対応する部会としていますが、どれもよく見るワードとなっており昨今の地域社会に求められている建築士の役割が多岐にわたると感じます。

更に詳細にみていくと、福祉・高齢化、少子化社会対策・移住促進・伝統的建築物・減災なども社会貢献の分野になっています。よって求められる事が肥大化ぎみとなり必要に答え応じる建築士がいないと聞こえてくることもあります。また分かってはいても忙しく手を出せない方もおられる状況です。

それで委員会の活動としては、各部会で求められている事を精査し、佐久支部内での短期・長期の対応すべき優先順位をもとに計画・企画としていきたいと思っています。視野は広く持ちますが、今直ぐに必要とされているものから堅実に望む所存です。応急危険度判定やウッドクラフト参加と会員の皆様のご協力により成り立つ委員会であります。引き続きのご支援、ご協力をお願いしご挨拶とさせていただきます。



平成29年度 情報広報委員会の活動について

情報広報委員長 山浦 孝志

委員会活動は、会報「ちくま」の年2回の発行及び佐久支部ホームページの活用充実と大きく分けて2つの活動です。

昨年度までは、会報担当委員とHP担当委員と分れていましたが、会報・HP・情報収集・取材活動・写真撮影・等の連携強化の為、本年度より全活動を合同で行う事となりました。

会報「ちくま」の表紙写真、佐久三十三番札所【佐久の札所】シリーズは今回発刊される57号の真楽寺で4件目となりました。



No. 54号より、新シリーズの【佐久の札所】に変更し、佐久三十三番札所の第一番札所 積尊寺より掲載をスタートしました。

委員会で、写真撮影と取材にお邪魔させていただくのですが、毎回快く受け入れて頂き、本当にありがたく思います。

また支部会報「ちくま」は会員の方々の協力で成り立っています。より良い内容にするためにも皆さんの協力が必要です。これからも原稿依頼・写真依頼のお願いには快く受けて下さいますようお願いいたします。

委員の皆さんと楽しみながら委員会活動を行っていききたいと思います。

平成29年度 青年女性委員会の活動について

青年女性委員長 緑川 博行

本年度より青年女性委員長を努めさせて頂きます緑川博行です。よろしくお願ひいたします。

青年女性委員会に入会して4年が経ちましたが、5月の総会より委員長になり状況が一転することになりました。久しく組織として動く事に慣れていなかった為、昔働いていた東京での会社員時代の思考となり、〇〇では、〇〇では、と出羽ノ守になりそうな自分がいました。ですが、前任の新津委員長はじめ、諸先輩方、副委員長、皆の協力の中、進めて行くなかで少しづつですが楽しくやっていたのではと感るようになりました。

さて、今年度の計画としましては、26年度より継続している氷地区の活動で、建築士会佐久支部と氷風穴の保存会の2団体で、「信州小諸氷風穴を考える会」を作り長野県元気作り支援金を受けています。

長期的に風穴の保存と環境整備に取り組み風穴の持続的な活用を目指しています。その為クリーン作業を8月と11月に行う予定です。

また、9月2日、3日と全国風穴サミットを小諸で開催いたします。氷地区の方と青年女性委員会で協力して風穴の未来について考えたいと思います。

一方で青年女性委員会の内部に目を向けると5年後の2022年には会員の減少が大幅に見込まれます。2017年4月1日で青年女性委員会の人数は77人いますが、昭和47年～昭和51年生まれの方が44人になります。昔は年10人位は入会していたかと思いますが、近年では年3～4人のペースでの入会であり先細り感は否めません。

また他の支部では、「人が居なくて困っている」と聞くことも少なくありません。その為、今まで活動をしていない方たちや新規入会の方が参加しやすいよう工夫することが今後の課題と考えています。

会員の皆様のご参加、ご協力よろしくお願ひいたします。

平成29年度 交流委員会の活動について

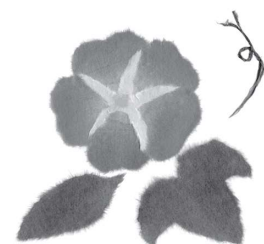
交流委員長 大町 栄一

平成29年度より交流委員長を仰せつかりました。何かと不慣れなため、前委員長の柏木さんをはじめ、新しい交流委員メンバーと協力して活動していく所存です。交流委員会の主たる目的は、建築士同士の交流促進、地域一般との交流促進、建設業界との交流促進など、人と人の交流機会を通じて建築士会を盛り上げ行くことにあると踏まえています。



佐久支部の伝統的行事となっている「建築士ネットワーク佐久」は予算の制約から、2年に1度の開催となり、本年度は行われませんが来年度に向けての準備と、毎年夏恒例の親睦ソフトボール大会、賛助会員との意見交換交流会を開催する予定です。また昨年より立ち上げたレジェンド会員アドバイザーシステムの有効活用を検討協議して、会員同士の支援と友好関係が向上するようにお手伝いできればと考えております。

会員皆様の積極的な参加協力をお願いいたします。



～風穴調査活動報告～

新津 輝秋

「青年女性委員会の活動報告」及び「風穴」をテーマにした記事を執筆するようご依頼をいただきましたので、青年女性委員会の風穴調査活動状況の報告をさせていただきます。



小諸市氷区と同区に遺構が残る風穴群につきましては、前回の「会報ちくま」において新委員長の緑川さんによる氷区と風穴に関する記事が掲載されておりますので、そちらをご覧ください。

ご承知の方もいらっしゃると思いますが、私たち青年女性委員会の活動のいかにもあり、氷区民が主体となり、風穴の維持・保全や利活用について考える団体として、氷風穴保存会が昨年結成されました。結成当初は、区民有志わ



か3名ほどの会でしたが、現在の会員数は50名を超えています。構成員は、風穴に深いかわりがあった氷集落の住民のみならず、同じ区内に新興住宅地として造成された中山団地の若い住民や、小諸市内でシルクや養蚕業をテーマに小諸市の魅力を発信しているNPO法人の方、現存する風穴に日本酒を貯蔵している酒造会社等、多岐にわたっております。かくいう私も、保存会に入会し微力ながら保存会の活動のお手伝いもしているような状況です。

風穴保存会の結成と保存会による維持保全活動や、大学などの研究機関による周辺環境の調査、平成29年9月2日～9月3日には全国風穴サミットin信州小諸の開催というように、氷区の風穴群への注目は高まるばかりですが、そんな中、青年女性委員会と氷風穴保存会を協同事業も行っていきます。今年度は平成29年度長野県地域発元気づくり支援金の助成を受け、周辺環境の整備事業と風穴やその周辺環境に関する勉強会を行います。

風穴には、その土地が辿ってきた歴史教材としての価値のほか、特徴的な地形を生かした天然の冷蔵庫であることから地理的価値や自然科学的価値があると考えました。図らずも手つ



図らずも手つ

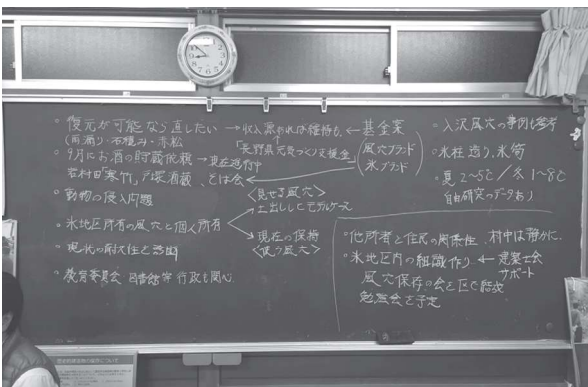
かずの状態で残されたこの風穴群を復興することで、城下町としての側面が強調されがちな小諸市において新たな小諸市像を創り上げ、地域の活性化を図ることを目的としました。

当青年女性委員会の意向としては、自然の冷蔵庫ともいわれる風穴の持つ魅力をより多くの人に認知してもらいたい思いがありましたが、そもそもそこで暮らしている氷地区住民が、風穴の保存活動や利活用を通じて発生するであろう～地域住民を取り巻く環境の変化～についてどのように感じるかを第一優先にすべき事項であると考えました。



*そこでまずは、氷区長の案内による氷地区と風穴群の見学会を当委員会内に於いて実施しました。その後、まちあるきワークショップや風穴群周囲のクリーン作業等を、佐久支部をはじめ市内のNPO法人やボランティアと実施しました。

*こうした一連の活動により得た、外部の人間から見た氷区と風穴群の持つ魅力や価値、風穴を活用した商品開発やツアーの企画などといった意見やアイデアを氷区住民に対し報告会という形で報告を行いました。氷区民に風穴群の



復興や利活用を行っていく際に生じるであろう弊害にも理解を示して頂いた上で本格的な活動を実施しています。

*平成28年1月には青年女性委員会の助言の元、氷区民主体で「氷風穴の里保存会」の結成。

*同年5月には、現存する風穴を利用したの日本酒の醸造やそば粉の熟成事業の開始。

*建築士会や保存会、市民有志による春・秋開催のクリーン作業の実施。

*平成29年9月開催の第4回全国風穴サミットの誘致。(サミットの実行委員会のメンバーとして当青年女性委員会も参加し運営協力。)

*小諸市ガイド協会やネイチャーガイド養成機関が氷区と風穴群をめぐるガイドツアーを開催。

*小諸市議会の議題や市長の所信表明演説にも氷区の風穴が取り上げられる。



など、当青年女性委員会が実施した活動を契機に、氷区住民から小諸市民全体まで、波紋のように風穴の価値観が広がり、全国でも注目される住民主体(当委員会との共同体制)のまちづくり活動が始まっています。

新年講演会

「武者忠彦先生の講演を聞いて」

柳澤 洋介



2月2日「地域再生と建築士の役割」と題して行われた信州大学経法学部准教授の武者忠彦氏による講演会を拝聴しました。

武者先生と青年女性委員会では2012年から佐久穂町、2014年から小諸市で一緒に場所の価値を高める活動をさせていただきました。講演の内容は、今まで建築士は点としての建築デザインを行ってきたが、面としてのまちづくりに関わりコミュニティをデザインすることで建築士の職能を活かせる可能性があるという内容でした。

まず、これからの人口減少や様々な社会的要因の中で、バブル期には167万戸あった住宅着工数が2025年には62万戸になると推計されていると説明されました。そして、着工数の減少と共に空き家率は上昇し、10年後には長野県内の中山間地域では空き家率が5割を超えらるといわれているそうです。

また、「どちらにお勤めですか」という帰属意識から、「どちらにお住まいですか」のようにステータスシンボルが変わってきていて、住む場所が大事になってきているということでした。住む場所が大事であるということは、地域性や地域によって差があることが大事であり、そこにしかない街並みや建物が場所の価値につながる。

私たちが行っているまちづくりは場所の価値を高めるといった社会貢献の一環であったけれども、これからはまちづくりが建築士の“仕事”

になっていくということでした。

それは、今までの社会貢献のまちづくりから一步踏み込んで、ストックを活かしたりノベーションを行い、人と人をつなぎコミュニティの維持や再構築をデザインすることで職能が発揮され建築士の“仕事”になっていくと示していただきました。

他にも、財政的に厳しい時代において少ないお金でどのようにまちをつくっていくかという国の戦略としてのコンパクト・プラス・ネットワークや立地適正化計画、地域公共交通形成計画や地域再生計画の説明や、戦後から高度経済成長期においては、専門家が考えた設計図通りにまちづくりを行い、需要に合わせて量を供給することにより経済成長を支えてきた「設計主義」とその後、大型店舗が出店しては撤退するなど市場の動きに任せた「自由主義」によってまちづくりを行ったことにより混乱を極めたと説



明をいただきました。

実感としてこれからは新築の需要は減っていくのだろうと想像していましたが、空き家の活用も視野に入れていかなければいけないと感じていましたが、武者先生に具体的にデータで示していただき、改めて新しい分野に果敢に挑戦しこれからのまちを担っていける活動していこうと決心をいたしました。

貴重なお話をお聞きできる機会を設けていただき、ありがとうございました。

着任挨拶



着任のご挨拶

丸山 忠史

4月より佐久建設事務所建築課に着任しました丸山忠史と申します。長野県建築士会佐久支部の皆様よろしくお願ひいたします。

現在は主に小諸市と立科町の建築確認申請の審査等の業務を担当させていただいております。

佐久地域は、北に浅間山、南に蓼科山、八ヶ岳を臨む豊かな自然に恵まれた地域で、国際保養地として知られる軽井沢をはじめ、八千穂高原や松原湖などの多くの観光資源を有した魅力ある地域です。私の出身は北信ですが、16年前より軽井沢で暮らしており、佐久地域は地元になります。

私の趣味は日曜大工で、自宅の庭にウッドデッキやテーブル、ベンチ、家の中の家具などを作っています。次はピザ釜づくりにも挑戦したいと思っていますが、なかなか着手できずにいます。

もうそれなりの年齢なのですが、県職員としては3年目で、この3月までは長野県庁の総務部財産活用課に勤務しておりました。

県職員になるまでは、民間会社で現場監督やリゾートの開発などに携わっており、建築確認を申請し施工する業務を行っておりました。そういった意味では長野県建築士会の皆様とは感覚が近いのではないかと感じており、この感覚は忘れずに佐久地域や長野県のまちづくり、発展のため尽力していきたいと思っています。

まだまだ不慣れでご迷惑をおかけすることがあると思いますが、皆様から教えていただきながら、誠実に努めていきたいと考えています。

今年度は、地域の横断的な課題の解決に向け、地方事務所に代えて地域振興局が設置され、建築課が地方事務所から建設事務所に移管されました。佐久建設事務所建築課となりましたが、所在は佐久合同庁舎内のままです。分かり難くてすみませんが、よりよい行政を目指した取り組みですので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

終わりに、長野県建築士会佐久支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、着任の挨拶とさせていただきます。



着任のご挨拶

塩野 靖生

4月に佐久建設事務所建築課に着任しました塩野靖生と申します。小諸市と御代田町の間に塩野という地名がありますが、私の塩野は須坂市の地名が由来と聞いています。県職員で塩野という苗字は二人しかいませんので名前だけでも覚えていただければと思います。

前任地は大町市にある北安曇地方事務所です。今は北アルプス地域振興局に組織が替わりましたが、その名の通り北アルプスの山岳が眼前に迫るというロケーションです。佐久市まで2時間峠を越えてはるばる来たと思っていましたが、ある晴れた朝、合庁付近から北西方向を見ると丘陵の先にわずかに北アルプスの山並みが見えるではありませんか。かなり距離があると思っていましたが、長野県の東の端から西の端まで見渡せることに驚きました。

さて、佐久市は東京に近く、新幹線駅もあり、合庁の近くに高速道のICがある程、高速交通網に恵まれています。県職員1年目に当時の建築指導課の景観係にいましたので、中部横断道沿道の屋外広告物規制地域の指定をしたことを覚えています。その中部横断道も今年度中に小海町の手前まで延伸する予定とのことで感慨深いものがあります。

佐久地域は風光明媚なところですが、特に好きな景観を挙げると軽井沢町の御影用水温水路です。そもそもは農業用水の水温を上げる農業用施設ですが、周辺の別荘地の景観と調和してイギリスの田園風景(?)のような心地よい雰囲気があります。

話は変わりますが、佐久地域の特産を調べたところ、酒どころで13もの酒蔵があることがわかりました。前任地も酒どころとはいえ5歳でしたので難なく味わうことができましたが、佐久地域でも何とか全蔵制覇できればと思っています。

とりとめのない話になってしまいましたが、建築士会の皆様には何かとお世話になりますのでよろしくお願いいたします。

新入会員の声

建築士会に入会して ——

笹沢 真一

この度、長野県建築士会佐久支部に入会させて頂きました。

私は、学生時代に建築を学び、卒業後建築に携わっていた時期もありましたが、健康産業、福祉の分野で長年働いています。

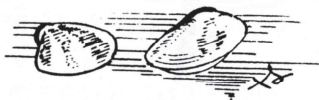
何年か前に、勤務する施設が改修工事を行う事となり、建築士と打ち合わせを行う機会が何度もありました。私達の要望を聞き、図面をおこし形にしていく建築士の仕事を間近で感じ、忘れかけていた『建築』への気持ちがどんどん大きくなっていく自分がいました。そして、何度か挑戦しては諦めていた資格を取得することを決めました。時間はかかりましたが、資格を取得することができました。

また、私は現在、要支援・要介護者を対象とした高齢者施設で働いております。高齢者が1日を過ごす空間として、ご利用者が楽しくまた、利用しやすい空間であること、そしてそれだけでなくスタッフが介助しやすい動線であることもとても重要であります。それは、建物を設計する建築士の腕にかかっているのだと、自分が建築士になり改めてそういった目線で建物を、見る事ができるようになりました。

今回、佐久支部の活動も拝見させて頂きましたが、青年女性委員会の小諸市氷地区『風穴』の活動などとても興味深く、様々な活動をされている佐久支部に魅力を感じ入会させて頂きました。

建築士としてスタートを切ったわけですが、支部の活動にも今後参加させて頂き、皆様と交流させて頂きたいと思っております。

経験の浅い若輩者ではございますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



建築士会に入会して ——

羽柴 遼

この度、長野県建築士会佐久支部に入会致しました羽柴遼です。普段は、住宅の新築工事を中心に業務に当たっております。私の学生時代、あの忌々しい姉歯事件が起こりました。一般社会からの建築士・建築業界への信頼が失われてしまいました。また、「性善説」から「性悪説」へと社会からの目が一変し、いよいよこれから建築を学ぶ立場として、当時の空気感はとても悲しく、残念な思いをしたことを鮮明に覚えております。あれから10数年が経ちました。しかしながら、こういった考えが未だに残っていることは否めません。

そんな中、実家のポストに入っていた「まちづくりの変革に挑む～小諸のまちなみと市民の声～」のアンケートから、佐久支部の皆さまのエネルギッシュな活動を知りました。地域住民の方々と共に、まちづくりを考え、活動されている姿は建築士としてのあるべき姿を教えてくださいました。私自身もそういった中に籍を置かせて頂く中で、知識・経験などスキルアップし、「建築」を勉強させて頂きたいと思い、入会をさせて頂きました。

佐久地域は、関東圏から見た長野県の玄関口です。佐久地域の発展は長野県全体への発展へと繋がり、北陸地域に延伸した新幹線は、地域の文化をより発信してくれる大きな武器であると常々感じております。天災も少なく、日照時間の長いこの地域は、まちづくりの更なる発展へのポテンシャルを秘めております。建築士の立場で、微力ではございますが建築士会の活動を通じ、この生まれ育った地域を魅力あるまちづくりの発展・発信出来るよう活動を行いたいと思っております。

最後になりますが、支部会員の皆さま方のご健勝とご多幸と更なるご活躍を祈念申し上げます。今後とも、よろしくお願いいたします。

賛助会員の紹介

株式会社 不 動

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

弊社は平成元年に浄化槽工事に特化した企業として佐久市原に創業を致しました。その後移転を致しまして現在は佐久市瀬戸にて本社を構えております。社名である「不動」は佐久市内山にございます荒船不動尊より名前をお借り致しました。毎年1月の仕事始めの日には、荒船不動尊にて1年の安全と健康を祈願し社員一同護摩焚きをしていただいております。

弊社は「環境事業を通じ、万物に思いやりの心を育む」を基本理念に掲げ、常に変化する時代のニーズに応えられるよう日々新しいことに挑戦してまいりました。特に「東に向かへ」を合言葉にしております。

創業当初は住宅の小型合併処理浄化槽や商業施設等の大型浄化槽の施工、学校や公共施設等の雨水浸透貯留槽設置工事、病院の除害施設の施工から浄化槽の維持管理等、水処理事業を基本事業としてまいりました。近年におきましては前記の事業に加え、緑化事業として埼玉県や東京都等の県外の特定期工場における駐車場緑化工事や屋上緑化工事に力を入れております。特に駐車場緑化は新しい工法で上場企業の多くのお客様からご支持頂いております。また、関連子会社の不動テクノスではガラスリサイクル製品である防犯・防草ジャリや水質浄化材等の製造販売を手掛けており、家畜等の脱臭装置は新方式で試験実証し販売の段階まできております。

おかげさまで来年度には創業30年を迎えます。これもひとえに皆様方のご支援ご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。これからも皆様のお役に立てるよう社員一丸となり技術や知識の更なる成長を目指し、努力していく次第でございます。

最後となりましたが、今後の長野県建築士会佐久支部会員の皆様の益々のご活躍及びご健勝をお祈り致しまして挨拶とさせていただきます。

今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

主な事業内容

〔水処理事業〕 各種排水処理設備の設計、施工、維持管理

〔緑化事業〕 駐車場緑化、屋上緑化、テニスコート等

〔ゴミ処理事業〕 町村一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、南佐久郡川上村ごみ収集運搬・処分場管理

〔関連子会社〕 株式会社 不動テクノス
株式会社 不動テック
有限会社 不動環境テック

株式会社 木 下 組

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は何かとご厚情賜り厚く御礼申し上げます。

弊社の前身は、大正11年4月に創業し、昭和23年4月に法人として設立、以来公共土木・建築工事の施工を中心に新幹線、電力施設等の施工に携わって参りました。

時代の推移と共に顧客のニーズも変化しましたが、現在は「いい会社づくり」をモットーに、社是を「誠実」（誠心誠意、真心込めて社会の創造に参画しよう）、社訓を「協調」（社会と共に心を合わせて協調し、未来に向けて邁進します）と、「奉仕」（優れた社会人になり社会に奉仕すると共に、いい会社をつくります）とし、社員一丸となって研鑽を積んでおります。

最近では若い社員も入社し、今まで以上に会社の内容や社員の資質向上を図り、新しい感覚での経営を目指しております。

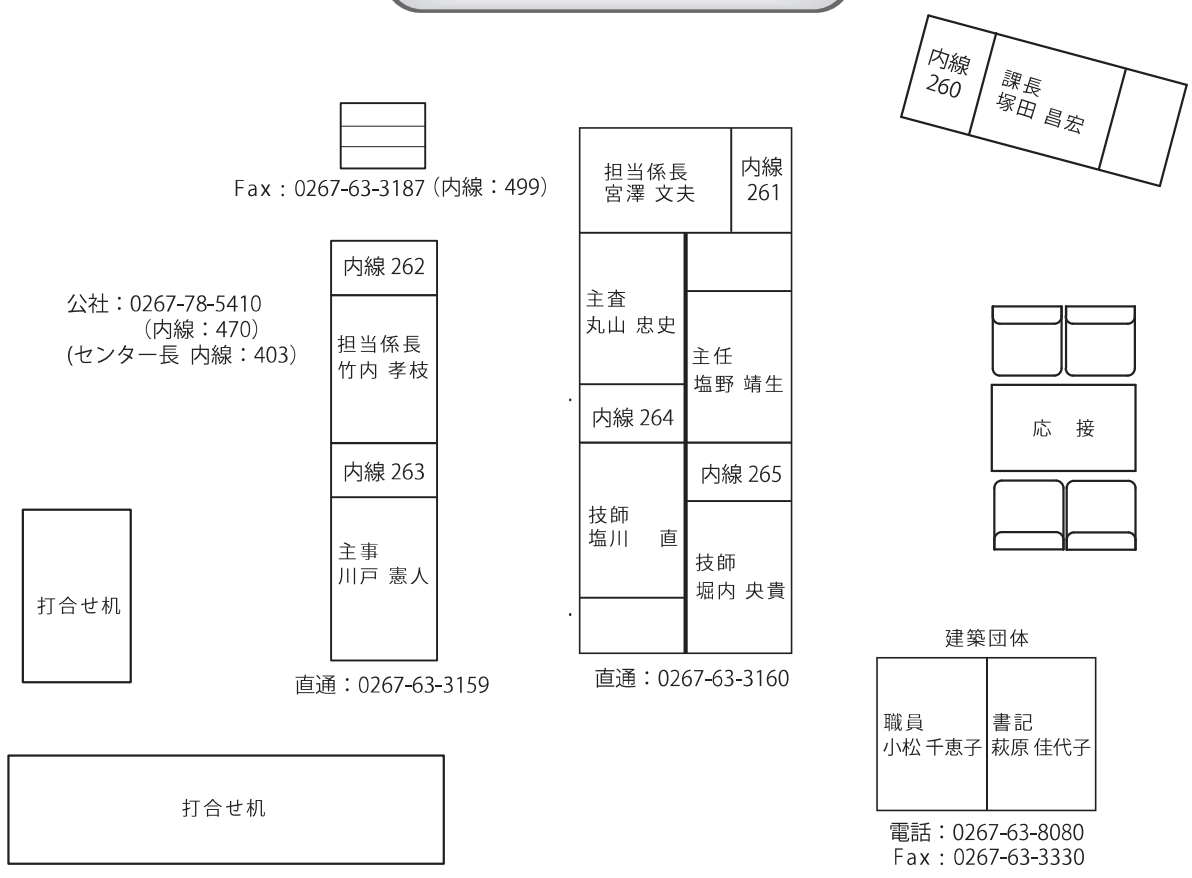
弊社では、昭和56年にISO9001、平成23年労働安全衛生マネジメントシステム（OHSAS）、そして平成24年事業継続計画（BCP）の各種認証を取得し、品質・安全・事業継続の認証を活用し、施工品質の確保、快適・安全な施工、そして地域社会の安全・安心を守る会社として地域に根ざした会社を目指しております。

最近では設計物件は少なくなって参りましたが、今後も設計業務が行える体制を保持致しますので、今後共変わらぬご支援とご指導をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の皆様の益々のご繁栄ご健勝を心より御祈念申し上げます。

代表取締役 依田幸光

建築課配置図



入口

速報
青年女性委員会、
関ブロ箱根大会
“優賞！”
全国大会(京都)へ

平成29年6月23日 関ブロ青年協
 かながわ箱根大会で、長野県代表の佐久
 支部青年女性委員会が『小諸氷地区の活
 動』を発表し、優勝しました。
 皆様のご声援ありがとうございました。
 次は全国大会、京都へ。



● 編集後記 ●

「関ブロ青年協箱根大会 優勝！」
 佐久支部青年女性委員会の『小諸氷地区の
 活動』が、関ブロ青年協箱根大会にて優勝
 しました。
 おめでとうございます。12月は、全国
 大会(京都)へ。
 全国大会も優勝を目指し頑張って下さい。
 皆様も応援よろしくお願い致します。

会報『ちくま』第57号 2017/7
 発行者 (一社)長野県建築士会 佐久支部
 情報広報委員会
 事務局 〒385-8533 佐久市跡部65-1
 佐久建設事務所内
 TEL 0267-63-8080
 FAX 0267-63-3330
 E-mail:ken8080@seagreen.ocn.ne.jp
 支部HP <http://www.aba-saku.com/>
 印刷所 プリントショップ コスモス
 TEL 0267-54-8010



は平成30年1月中旬予定です。